

## 1. 総評

**(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】**

- 児童について  
明るく元気な児童が多い。登校班や縦割り班活動を通じて、他者を思いやる心も育ってきているが、心ない言葉で友達を傷つけてしまう児童もいる。名札を付ける、帽子をかぶると行った基本的な学校生活のきまりは、ほとんどの児童が守ることができるようになった。学力の個人差が大きく、基礎的・基本的な学力の確かな定着と思考力や読み取る力、学習意欲の向上は引き続きの課題である。
- 教師について  
熱心に指導にあたる教員が多いが、本校初任もしくは教師経験10年未満や産・育休補助教諭が多く、指導力の向上が大きな課題である。教育活動全般を通して、経験の少ない若い主任が多いので、組織性を高めていくことも課題である。
- 保護者・地域について  
登下校の見守り、学校の教育活動への協力など大変熱心に活動してくれる。一部の保護者には、家庭学習の軽視などの課題があり、学校から改善を働きかけているがなかなか改善されないなどの問題点がある。

**(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組みの概要****重点的な取組事項－1 基礎的・基本的な学力の定着、向上**

- 西二タイム（個別指導）の充実
- 放課後補習学習の設定
- 家庭学習
- 小中連携

**重点的な取組事項－2 豊かな心の育成**

- 心の教育の充実
- きまりを守って行動する児童
- 特別活動での望ましい集団活動

**重点的な取組事項－3 体力の向上**

- 日常的な体育的活動の充実
- 日常的な運動遊びの奨励
- 体育的活動の充実

**(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性****重点的な取組事項－1 基礎的・基本的な学力の定着、向上**

〔成果〕

- 区学力向上のための調査における経年比較では、毎年、国語の通過率は向上している。（算数は停滞傾向）しかしながら今年度4月の調査結果では、当初の目標値である2科74.5%、国語71.3%、算数77.8%（26年度区平均値）を上回ることができなかった。（通過率が2科72.0%、国語67.0%、算数77.0%であった。）12月の再テストでは、通過率が2科76.1%、国語75.7%、算数76.4%であり、2科計と国語は目標値を上回ることができた。算数はわずかに及ばなかった。

〔課題〕

- 学力低・中位層の児童の学力向上
- 基礎的・基本的な学力の確かな定着と思考力や読み取る力、学習意欲の向上

〔解決の方向性〕

- 個の実態に応じた学習指導
  - ・個人カルテ
  - ・そだち指導
  - ・放課後補習教室
  - ・家庭学習の奨励・定着
  - ・サマースクール（足立工業高校、西新井中学校の協力）
  - ・パワーアップタイムの実施（読書・計算・漢字）
  - ・算数習熟度別学習における東京方式の効果的な活用

- 指導力の向上、指導方法の改善
  - ・小中連携
  - ・OJT…国語・算数の授業参観、指導
  - ・教科指導専門員による指導
- 児童の実態の早期把握と対応
  - ・2月再テストの活用→個人カルテ、そだち指導

## 重点的な取組事項－2 豊かな心の育成

〔成果〕

- 学校評価アンケートでは、「道徳を重視し、思いやりの心を育てているか。」というアンケートに対し、87%の保護者が肯定的（A・B）な評価をしている。児童も「友達の嫌がることをしないように心がけていますか。」というアンケートに対して、90%が心がけていると答えている。A・B評価の数値目標である86%を越えることができた。

〔課題〕

- いじめの可能性がある、こじれた事案が1件あった。個々の教員の指導力を高めると同時に、学校の対応力も高めていく必要がある。
- 心ない言動を取る児童がいるので、さらに豊かな心の育成のための指導を充実させていく。

〔解決の方向性〕

- 心の教育の充実
  - ・いじめ防止強化月間における生命尊重に関わる授業の実施
  - ・奇数学年での保育園児との交流
- 特別活動の充実
  - ・学級活動を中心とした体験を通しての社会性の育成。（P・D・C・Aのサイクルで12時間以上）
- 生活指導の工夫・改善
  - ・週目標の定量化
  - ・日常の指導体制の改善

## 重点的な取組事項－3 体力の向上

〔成果〕

- 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査において体力合計点で、3年男子、3年女子、5年女子は都平均・全国平均を下回ったが、1年男子、6年男子、4年女子、6年女子では都平均・全国平均を上回った。その他の学年でも都平均を上回っている。

〔課題〕

- 積極的に運動に取り組む子の育成を図る。そのために、児童の興味・関心を喚起し活動意欲を高めるような場の工夫を引き続き行っていく。特に、男女ともに都・全国平均を下回る3年生のてこ入れを図る。

〔解決の方向性〕

- 多様な運動経験の確保
  - ・西二ギネス：種目を工夫し、多様性を持たせる。
- 日常的な運動遊びの更なる奨励
  - ・20分休み（中休み）は、全員校庭で遊ばせる。
- 体育的活動の充実
  - ・季節に応じた体育的活動に、主体的に取り組むことができるように工夫する。

## (4) 保護者や地域へのメッセージ

- 学力向上については、新たに個人カルテを作成するなどして、さらに児童一人ひとりの実態に応じた指導が行えるようにする。
- いじめに関しては、保護者との対応でこじれてしまった案件が1件あった。学校の組織的対応力を向上させるとともに、今まで以上に保護者との連携をこまめに行い、共同して対応ができるようにしていく。
- 朝の登校の状況は引き続き良好で、ほとんどの児童が8時15分までに登校を完了している。時々、帽子をかぶっていない児童を見かけることがあるが、理由を尋ねると家からかぶらないで来たり、前日学校に忘れたという理由であったりする。きまりを守るという意識をしっかりと育てるためにも、御家庭での声かけをお願いしたい。学校でも引き続き指導していく。
- 家庭学習の定着が、子供の将来にとって大変重要である。学校で出す宿題だけではなく自学（家庭での自主的な学習）が重要である。少しでも児童の家庭学習の割合の中に、自学の比率が高くなっていくように協力して進めていきたい。

## 2. 平成27年度の重点的な取組事項

<達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る>

### 重点的な取組事項－1 学力向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学力向上	区学力調査 通過率2科74.5%、国語71.3%、算数77.8%	4月2科71.5%、国語66.4%、算数76.6% 12月2科76.1%、国語75.7%、算数76.4%	12月調査の結果、国語は10%近く伸びているが、算数は思わしくない。算数の指導方法を改善する。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
西二タイム	個に応じた指導を、年間30回(月3回)実施する。	①2月の学力テスト(当該学年の物を実施)とポートフォリオを基に、4月からさかのぼり指導を実施。 ②系統性が明確な算数を20時間、国語を10時間で実施。 ③3年生以上の算数を、習熟度別学習で進める。	①4月からさかのぼり指導を実施した。 ②算数を20時間、国語を10時間で実施した。 ③3年生以上の算数を、習熟度別学習で進めた。	ポートフォリオを基にさかのぼり学習を実施したが、効果が思わしくなかった。工夫・改善を図る。	○
放課後補習教室	区小研等の日を除き、週5日実施する。	①学習の遅れが著しい児童を対象とし、週時程に位置づけ、毎日、30分行う。 ②専科教員がTTで入る。 ③低学年を中心とした保護者、地域のサポート	①区小研、クラブ活動、委員会活動などが難しい日以外は毎日行った。 ②中・高学年を中心にTT指導を行った。 ③低学年の指導に一部入っていた。	繰り返しの指導を行っているが、なかなか学習内容が定着しない。学習内容の定着が課題である。	○
家庭学習	学年に合った家庭学習を実施し、8割の児童が達成する。	低学年30分、中学年40分、高学年50分の学習時間を設定し取り組ませる。	8割という目標は達成できた。	宿題をやってこない児童もおり、家庭の協力を得にくいことが課題である。	○
小中連携	①年間10回実施する。 ②夏季補充教室への中学校の協力	①全体会2回。分科会、授業研究、公開授業8回。 ②夏季休業中に10日間実施する。	①予定どおり実施した。小学校での授業は中学校教諭とのTTで行った。相互理解が深まった。 ②予定どおり実施した。	①分科会の人数が少なく、指導力を高めるところまでは行かなかった。 ②マンツーマンに近い形で指導できた。	○

## 重点的な取組事項－２ 豊かな心の育成

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
きまりを守り、他を思いやり、互いに認め合う児童が増える。	学校評価アンケートで教員、児童、保護者、からのＡＢ評価を８６％以上にする。	学校評価アンケートでは、「道徳を重視し、思いやりの心を育てているか。」というアンケートに対し、８７％の保護者が肯定的（ＡＢ）な評価をしている。児童も「友達の嫌がることをしないように心がけていますか。」というアンケートに対して、９０％が心がけていると答えている。	評価の数値は年々上がっているが、一部に心無い言動を取る児童がいる。特定の児童ではあるが、こういった児童への指導が課題である。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の充実	①いじめ（生命尊重）に関する授業を年３回実施する。 ②奇数学年での保育園との交流の充実	①いじめ防止強化月間（６月、１１月、２月）に授業を実施する。 ②１年：学習体験、３年：保育園訪問、５年：給食体験・学校案内	①授業は計画どおり行った。いじめに関わりこじれた事案が１件あった。 ②保育園との交流も計画どおり行った。	①授業の実施は大事であるが、常に子供の状況を把握しておくことが大切である。 ②保育園からも好評であった。	○
きまりを守って行動する児童	きまりを守った生活に関する児童評価８５％以上	帽子・名札の着用など、月別に重点生活指導目標を設定し、継続して取り組む。	帽子、名札の着用については常に指導している。長期休業明けに若干乱れがあるが、すぐに良い状態になる。	自らすすんできまりを守ろうとする児童の育成が課題である。	○
特別活動での望ましい集団活動	学級を中心に児童の自発的・自治的活動を２０時間確保する。	学校行事、集会、係活動等で提案理由を明確にした話し合い活動に基づき、PDCAのサイクルにのっとった集団活動を行う。	集団活動を意識して行う教員が増えた。２０時間まではできなかった学級もある。	若手教員が多く、学級活動の進め方を教員に指導していく必要がある。	○

## 重点的な取組事項－３ 体力の向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
運動することが好きな子を増やす。	児童アンケートで、運動が好きな子を９０％にする。	児童アンケートの結果、運動遊びが楽しいとする子は、８３％であった。	児童アンケートの結果では、目標達成まで人数にして２８名であるが、内容の改善を図りたい。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
日常的な体育的活動の充実	１年間継続した体育的活動に取り組む。	朝マラソン…水曜・金曜の８時１５分から５分間。西二ギネス…年間１０回取り組む。	雨天を除いて予定どおり取り組んだ。（西二ギネスは日時を変更）	運動種目を工夫・改善する。	○
日常的な運動遊びの奨励	２０分休み、昼休みにおける外遊びの奨励	学級担任が外遊びを働きかけると同時に、週番が休み時間に校内を見回り、外遊びを働きかける。	多くの児童が外遊びを楽しんでいる。	２８年度は中休みには、全員が外に出て遊べるようにする。	◎

目標実現に向けた取り組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体育的活動の充実	具体の活動での児童の肯定的な評価を90%にする。	①長縄跳び・短縄跳びの取り組みを、11月・1月に1ヶ月取り組む。 ②持久走記録会を中心としてマラソン旬間に取り組む。	①縄跳びの取り組みが楽しいとする児童は62%であった。 ②持久走の取り組みが楽しいとする児童は44%であった。	児童の意欲を高めるような方法を考える。	●

### 3. 学校活動全般について

- 2名の主任教諭以外は、実勤務経験年数が10年未満か産・育休補助教諭という職員構成であるが、必要な指導を行ってきた結果、教員に組織で動くという意識が育ってきた。主任を若手に任さざるを得ない状況であるが、各人の現状に応じた支援をし、意欲的に校務運営に取り組めるようにしていく。
- 学力向上の新たな手立てとして、区調査の目標値を超えない児童の個人カルテを作成し、指導の有効性を高める。
- OJTの指導などを通して、学級活動の指導力を高め児童の社会性を育てていく。
- 生活指導における月目標・週目標の定量化を量り、児童の規範意識を高めていく。
- 体力向上のための取り組みを工夫し、有効性を高めていく。